

全国で活躍する菊陽町民の皆さんを紹介します

# J.O.D.P

常に挑戦を続ける若きダンサー

なかにし はると

## 中西 陽飛さん

(津久礼ヶ丘)

### Profile

平成16年4月生まれ。熊本学園大学3年生。大学生として勉学に励む傍ら、インストラクターとして九州各地で毎日生徒にダンスを教える。東京での仕事も多く、アーティストの作品出演や振付など、内容は多岐にわたる。トレードマークはパフォーマンス時の必需品であるバンダナ。身に付けると気合いが入る。

「ダンスは自分にとって、自己表現のツールを超えた自分自身」。ダンスへの熱い愛を語るのは、ダンサーとして活躍する大学生の中西陽飛さん。

ダンスを始めたのは5歳の頃。親戚に連れられて行ったアーティストのコンサートの魅了され、音楽が好きになった。母の勧めでダンススタジオに通い始めると、踊ることの楽しさにのめり込み、めきめきと上達。

小学4年生で初めてチームを組み大会に出場したことで、今まで一人で踊り練習する「個人で楽しむダンス」が、仲間と切磋琢磨する「みんなで楽しむダンス」に変わり、より熱中した。ダンス人生の転機は、高校3年生の時に訪れる。それまで県内で活動していたが、初めて東京で開催されるオーディションに参加。このオーディションを知った時「これはやるしかない」とビビッときたという。「合格しか考えていなかった」の言葉通り、約660人の参加者から、合格者8人の1人に選ばれ、これをきっかけに活躍の舞台を全国へ広げた。今では振り付けやバックダンサー、インストラク

ター、大会やバトルへの出場まで、多岐にわたり活躍する全国でも珍しい存在だ。

中西さんのダンスは、町にも元気を与えてきた。熊本地震発生後、当時菊陽西小学校6年生だった中西さんは、熊本を元気づけようと、同級生と共にダンスの振り付けを考案。「菊西ダンス」と名付け、地域に発信した。このダンスは今でも受け継がれ、運動会の定番となっている。「まだ踊ってくれているとは思っていなかった。当時の振り付けは今の自分からすれば未熟。それでも、ずっと受け継いでくれているのはすごくうれし」と笑顔を見せる。

現在は、仕事で東京と熊本を行き来する生活を送る中西さん。これまで挑戦し続けてきたことで生まれた交友関係が、今の活躍につながっているという。「地方からでも、一歩踏み出せば活躍の場は広がっていくことを、身をもって証明したい。その姿を見てくれた人が、実際に挑戦し活躍していくような、良い循環を作っていけたら」。中西さんの挑戦はこれからも続いていく。



2024年にはダンスの世界大会で悲願の優勝



高校3年生で受けたオーディション。憧れのRIEHATAさんとのステージ



ダンススタジオに通い始めた幼少期

## くまモンアーバンスポーツパーク

# スケートボードコースの完成イメージを発表しました

☎ スポーツ振興課 総合運動公園係 ☎096(288)7877



左から、キャラクター、ビル・ミナデ副社長、吉本町長、脇県観光文化部長、くまモン

2025年6月30日 ©2010 熊本県くまモン

6月30日、総合体育館でくまモンアーバンスポーツパークのスケートボードコースの完成イメージ発表を行いました。

今回発表を行った常設のスケートボードコースは、東京オリンピックやパリオリンピックのスケートボードのコース設計を手がけた、アメリカのカリフォルニアスケートパークズ社が設計・監修しています。同社の、ビル・ミナデ副社長がコースデザインについて説明を行い、「熊本城やくまモンをイメージしてデザインしている。初心者からオリンピックレベルの選手まで楽しめる施設になる」と話しました。

吉本町長は、「整備しているくまモンアーバンスポーツパークは、西日本最大級となるもので、中でも常設のスケートボードコースは、国内大会や世界大会も開催可能な施設となっています。また、BMXや3×3などのさまざまなアーバンスポーツを楽しむことができるので、県内はもちろん、全国からの利用を期待しています」とあいさつしました。

## くまモンアーバンスポーツパークとは？



現在、町が菊陽杉並木公園を拡張し整備を進めている、令和8年4月開業予定のアーバンスポーツ施設は、スケートボードの国内大会や世界大会が招致可能な、西日本最大級のアーバンスポーツ施設となります。スケートボードは、中・上級者向けの「ストリートエリア」「パークエリア」と、初心者や小さな子どもたちも楽しめる「フラットエリア」に分けて整備。BMXなどのスケートボード以外のスポーツが楽しめる「多目的エリア」や、バスケット「3×3エリア」も整備します。

また、施設全体を、県が進める「くまモンランド化構想」の一つの拠点として、くまモンを取り入れたデザインにしています。

県と町は、令和6年3月に「アーバンスポーツの推進に関する連携協定」を締結しており、今後、連携して機運醸成や大会招致、競技レベルの向上などに取り組んでいきます。